

シラバス(授業内容)

インナービューティ科 2年

エステティシャン専攻

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	Wordでいろいろな印刷を行うことができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	お礼状の作成	Word お礼状の作成			
第2回	2	Gmail	メールの作成、送受信、返信、署名、添付ファイル			
第3回	3	Wordで表の活用しよう	Word 表を挿入したビジネス文書の作成			
第4回	4	レポート作成	Word レポートの作成、表紙の挿入、ページ番号の挿入			
第5回	5	プレゼン作成	PowerPoint 基本操作復習			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint 画面切り替え効果、アニメーション効果、印刷			
第7回	7	関数を使おう	Excel オートフィル、関数、表の編集			
第8回	8	ワークシートの管理	Excel オートフィルの活用、ワークシートの管理			
第9回	9	グラフ機能	Excel グラフ機能			
第10回	10	Excelで表を作成しよう	Excel 作表まとめ			
第11回	11	袋とじ印刷	Word 袋とじ印刷			
第12回	12	はがき印刷	Word はがきの作成印刷			
第13回	13	試験対策	Word 試験対策			
第14回	14	期末試験	Word 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説と前期の振返り			
初回持ち物	教科書(Office2016)、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ITコミュニケーション			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	田中 みゆき					
	実務経験	有	企業研修や大学での授業経験をもとに、企業のニーズに応えられるよう指導を行う。			
目的及び概要	現代社会においてはパソコンが使えるだけでなくパソコンを活用できる能力が必要とされています。1年次で学んだ基礎技能の復習を行いながら、Word、Excel、PowerPointの応用的な機能を学習します。					
到達目標	図及び図形を活用した文書を作成することができる。 作表スキルの習得と、データを扱うための力を身に付ける。 プレゼン資料を作成できる。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	Office2016(実教出版)					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	Word 表現力のある文書の作成	Word 図と図形の挿入の復習			
第2回	2	画像の編集と加工	Word Officeのフォトタッチ機能			
第3回	3	図の挿入と図形の活用	Word 図の挿入と図形の活用			
第4回	4	PowerPoint復習	PowerPoint復習			
第5回	5	ノートの活用と印刷	PowerPoint ノートの活用と印刷			
第6回	6	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第7回	7	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第8回	8	プレゼン作成	PowerPoint プレゼンテーション資料の作成			
第9回	9	動画作成	PowerPoint フォトアルバム機能 動画作成			
第10回	10	作表とワークシートの操作	Excel オートフィルの復習、ワークシートの操作			
第11回	11	表の作成	Excel 予約表の作成			
第12回	12	差し込み印刷	Excel データベース機能 Word 差し込み印刷			
第13回	13	試験対策	Excel 試験対策			
第14回	14	期末試験	Excel 期末試験			
第15回	15	期末試験の解説	期末試験の解説			
初回持ち物	教科書、USBディスク、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験		筆記試験	
	・定期試験や小テスト			○	実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシューズスキル			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	-	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	働くことの意味を考える	私たちはなぜ働くのか/マズローの欲求段階説			
第2回	2	アンガーマネジメント	「怒り」の感情の正体とは			
第3回	3		怒り感情のコントロール方法(自己理解)			
第4回	4		怒り感情との向き合い方・対処法(他者理解)			
第5回	5		クレーム対応/クレームの考え方			
第6回	6		そもそもストレスとは? ストレスの捉え方			
第7回	7	メンタルヘルス コントロール	ストレスの受け取り方/受け流し方を知っておこう			
第8回	8		幸せホルモンとセルフコントロール①			
第9回	9		幸せホルモンとセルフコントロール②			
第10回	10		自分だけのコーピングリストを作成しよう			
第11回	11		Highly Sensitive Personについて(HSP・HSS診断テスト)			
第12回	12	Highly Sensitive Personについて	HSS・HSPとの付き合い方、接し方①			
第13回	13		HSS・HSPとの付き合い方、接し方②			
第14回	14	試験	期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	期末試験解説/FB			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フレッシャーズスキル			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	宮崎 愛子					
	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロデュース。社会人経験で得た課題対応能力やキャリアプランニング能力を伝えていく。			
目的及び概要	1年後の就職を控え、社会人としての準備をしていく必要がある。「社会に出る前のメンタル強化」を目標にし、自身のストレスコントロール力、良好な人間関係の築き方、対人トラブルの対処法などを学ぶ。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に出てから起こるさまざまな対人トラブルによる離職等を防ぐ ・グループワークを通じて協調性や発信力、傾聴力を鍛える ・様々なタイプの人間がいることを知り、それぞれに対応できる接客スキルを考える 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし(適宜プリントを配布)					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	社会人への意識改革	学生と社会人の違い/社会人の評価基準			
第2回	2		信用と信頼/仕事を任せてもらえる人材になるために			
第3回	3	成果をあげる接客テクニック	価値基準からベネフィットの考え方を理解する			
第4回	4		傾聴力レッスン/ベネフィットを引き出すロールプレイング①			
第5回	5		傾聴力レッスン/ベネフィットを引き出すロールプレイング②			
第6回	6		SPIN話法で具体的なアプローチを知る			
第7回	7	アサーティブコミュニケーション	アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション①			
第8回	8		アサーティブの基本/自己表現タイプと心理的ポジション②			
第9回	9	新入社員の自己紹介	第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」①			
第10回	10		第一印象の重要性「自己紹介の目的、ルール、伝えるべきこと」②			
第11回	11		相手の心に届く自己紹介を考えよう			
第12回	12		新社会人になった気持ちで自己紹介をしてみよう			
第13回	13	2年間の総まとめ	大切な人に"ありがとう"を伝える			
第14回	14	試験	後期 期末試験			
第15回	15	試験解説・まとめ	試験解説・まとめ			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○		筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	就職ガイド			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	新山 和子					
	実務経験	-	人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナーを担当。新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。			
目的及び概要	就職活動に必要な知識の習得を行い実践で活かせるようにサポートします。また、社会人で必要な年間行事マナーを理解し、「働く」ことについて将来のキャリアデザインを考え、卒業後に備えます。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	面接練習	就職活動進捗確認・面接練習			
第2回	2		面接練習			
第3回	3		面接練習			
第4回	4	一般常識	SPI・GAB対策			
第5回	5		適性検査・一般常識対策			
第6回	6	ディスカッション	グループディスカッション対策			
第7回	7		グループディスカッション練習			
第8回	8	社会人とは	新社会人に求められるもの			
第9回	9	ビジネスマナー	ビジネスマナーがなぜ必要か			
第10回	10	コミュニケーション	コミュニケーションの種類～ノンバーバル～			
第11回	11		コミュニケーションの種類～バーバル～			
第12回	12	サービス接遇	サービスマナー・慣用句			
第13回	13	働くことの意義	〇〇で働くことの意義			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	モチベーションコントロール	モチベーションアップから得られるもの			
初回持ち物	筆記用具・就職ファイル					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-			-	
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める (Q2A: 金4限/Q2C: 金5限/Q2D: 金5限/Q2E: 金4限/Q2F: 水1限)					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	クラスコミュニケーション	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め/SAM選出			
第2回	2		学校生活・補講について			
第3回	3		マシュマロチャレンジ			
第4回	4	スポーツ大会	スポーツ大会(実行委員決め/競技候補)			
第5回	5	避難訓練事前指導	避難訓練について(動画視聴)			
第6回	6	スポーツ大会	競技について話し合い(クラスTシャツ)			
第7回	7		出場競技決定			
第8回	8	コミュニケーション	クラスコミュニケーション/Q2ACエスグラについて			
第9回	9	FUSに向けて	FUSについて/FUS実行委員決め			
第10回	10	学園祭	学園祭について(実行委員決め/出し物候補)			
第11回	11		学園祭について(役割決め/作成物)			
第12回	12		学園祭について(役割決め/作成物)			
第13回	13	期末試験について	休みの過ごし方/期末試験について/夏季休業中の登校について			
第14回	14	行事準備	学園祭/スポーツ大会			
第15回	15	アンケート/振り返り	学校生活アンケート/前期振り返り			
初回持ち物	AIE/ノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	イベントプロモーション			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
担当講師	担任					
	実務経験	-	-			
目的及び概要	学校生活や学校行事を通して、人間関係を形成し学校での集団行動やチームワークなどを深める。 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度をこの授業育てる。					
到達目標	就職活動、社会人としての理解を深める					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	各目標決め	クラス目標/個人目標/リーダー・サブ決め			
第2回	2	学園祭	催し物について話し合い			
第3回	3	学園祭	企画書作成			
第4回	4	学園祭	概要決め			
第5回	5	学園祭	ルール説明			
第6回	6	FUS	演出について			
第7回	7	FUS	各クラステーマ・コンセプト決め			
第8回	8	スポーツ大会	概要説明			
第9回	9	スポーツ大会	出場競技決め			
第10回	10	スポーツ大会	ルール説明			
第11回	11	FUS	ウォーキングレッスン			
第12回	12	FUS	ウォーキングレッスン			
第13回	13	FUS	ウォーキングレッスン			
第14回	14	FUS	ウォーキングレッスン			
第15回	15	アンケート	学園生活アンケート			
初回持ち物	AIEノート、筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	皮膚科学			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年でやった内容に加え、トラブル肌に関する知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標	お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点をを目指す					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	②皮膚科学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	1年の復習とAEAについて	1年の流れの説明と復習			
第2回	2	皮膚の構造とトラブル肌	Chapter5の導入・トラブル肌とは			
第3回	3	発疹の種類	湿疹・発疹の種類			
第4回	4	ニキビ	ニキビの正式名称と状態			
第5回	5	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第6回	6	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第7回	7	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第8回	8	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第9回	9	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第10回	10	敏感肌	敏感肌の理由と対策			
第11回	11	接触皮膚炎	皮膚炎について			
第12回	12	アレルギー性疾患	アレルギーの種類と対策			
第13回	13	テストの話	テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説と後期の説明			
初回持ち物	教科書(②皮膚科学)、筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	皮膚科学			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	1年合計単位	2 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	1 単位	2年合計単位	2 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年でやった内容に加え、トラブル肌に関する知識を高め、AEAに出る範囲の問題も習得すること					
到達目標	お客様へ説明できるような肌への知識を深め、検定の問題も合格点をを目指す					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	②皮膚科学					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	1年の復習とAEAについて	1年の流れの説明と復習			
第2回	2	皮膚の構造とトラブル肌	Chapter5の導入・トラブル肌とは			
第3回	3	発疹の種類	湿疹・発疹の種類			
第4回	4	ニキビ	ニキビの正式名称と状態			
第5回	5	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第6回	6	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第7回	7	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第8回	8	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第9回	9	復習兼ねたAEA対策	Chapter1～4範囲のAEA問題			
第10回	10	敏感肌	敏感肌の理由と対策			
第11回	11	接触皮膚炎	皮膚炎について			
第12回	12	アレルギー性疾患	アレルギーの種類と対策			
第13回	13	テストの話	テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説と後期の説明			
初回持ち物	皮膚科学の教科書とノート					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	生理学			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位	4 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること					
到達目標	お客様に体の構造の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	③解剖生理学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	Chapter1	導入と人体の成り立ち			
第2回	3・4	Chapter2	骨格系			
第3回	5・6	Chapter3	筋系			
第4回	7・8	Chapter4	消化器系			
第5回	9・10	Chapter5	呼吸器系			
第6回	11・12	Chapter6 & 7	泌尿器系・内分泌			
第7回	13・14	Chapter8 & 9	生殖器・循環器			
第8回	15・16	Chapter10	血液			
第9回	17・28	Chapter11	感覚器			
第10回	29・20	Chapter12	神経系			
第11回	21・22	試験対策	AEA対策			
第12回	23・24	試験対策	AEA対策			
第13回	25・26	試験対策	AEA対策			
第14回	27・28	テスト	期末試験			
第15回	29・30	返却	まとめ			
初回持ち物	教科書(③解剖生理学)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	生理学			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	2 単位	1年合計単位	3 単位
2年単位	前期	2 単位	後期	2 単位	2年合計単位	4 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	各臓器を知り、体の中の仕組みを知ること					
到達目標	お客様に体の構造の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	③解剖生理学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	運動生理学	Chapter5 運動の必要性			
第2回	3・4	運動生理学	Chapter6 筋肉・呼吸器・運動の復習			
第3回	5・6	運動生理学	Chapter7～9 運動のプログラムと実際			
第4回	7・8	試験対策	AEA対策(運動生理学範囲)			
第5回	9・10	心身生理学	Chapter13 脳の構造			
第6回	11・12	Chapter14	ホメオスタシス			
第7回	13・14	Chapter15	免疫			
第8回	15・16	Chapter16	ストレス			
第9回	17・28	Chapter17	心と肥満			
第10回	29・20	Chapter18	スキンタッチの効果			
第11回	21・22	心身生理学まとめ	小問題とAEA問題集導入			
第12回	23・24	試験対策	AEA対策			
第13回	25・26	試験対策	AEA対策			
第14回	27・28	テスト	期末試験			
第15回	29・30	返却	まとめ			
初回持ち物	運動生理学の教科書とノートかルーズリーフ(前期から使用している続き)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品学			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	1年生前期の内容に加えて、ボディ用全般の化粧品や、成分についての知識を深める。また、AEA用の問題集の対策も行う。					
到達目標	お客様に化粧品の説明をできるようになることと、AEA上級試験に合格する					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑤化粧品学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	化粧品学とは	昨年の復習とボディ用品			
第2回	2	ボディ用品①	浴用料、ボディスキンケア			
第3回	3	ボディ用品②	スリミング剤、紫外線ケア			
第4回	4	ボディ用品③	制汗・防臭・脱毛剤・まとめ			
第5回	5	香料①	香りを必要とするか			
第6回	6	香料②	分類とその種類			
第7回	7	AEA問題集	1年の範囲(法律やルール)			
第8回	8	AEA問題集	基礎化粧品の問題			
第9回	9	AEA問題集	テスト対策			
第10回	10	化粧品の原料とは	化粧品の成分の分類			
第11回	11	油性原料	油性原料			
第12回	12	水性原料	水性原料			
第13回	13	その他の成分	期末テスト対策			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	保湿剤について			
初回持ち物	1年生の時のノート、教科書(⑤化粧品学)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	栄養学			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	1 単位	後期	-	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	栄養学を理解し食生活を見直したり、お客様へのアドバイスができるようになることが目的です。サプリメントはあくまで栄養補助食品なので、それに頼らず生活習慣の改善ができるような知識を身につけ、AEAの検定対策もします。					
到達目標	AEA対策と、自分自身の食生活の見直し、お客様へ適切なアドバイスができるようになることが目標となります。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	栄養学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	Capter1	1年時の復習			
第2回	2	Capter2	1年時の復習			
第3回	3	Capter3	サプリメントと添加物と健康			
第4回	4	Capter3	アレルギーと保存料			
第5回	5	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説			
第6回	6	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説			
第7回	7	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説			
第8回	8	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説			
第9回	9	AEA対策	1年からの復習をしながらAEA問題と解説			
第10回	10	栄養学まとめ	ケーススタディ①			
第11回	11	栄養学まとめ	ケーススタディ②			
第12回	12	栄養学まとめ	ケーススタディ③			
第13回	13	テスト対策	AEA範囲			
第14回	14	期末試験	期末テスト			
第15回	15	解説とまとめ	栄養学のまとめ			
初回持ち物	教科書(⑥栄養学)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	サロンマネジメント&法規			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	会社の経営と接客方針に対して学び、法律を理解すること					
到達目標	社会の常識と法律を学ぶことで、接客業で生かせるようにすることと、検定も合格すること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑧サロンマネジメント&法規					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	サロンの経営とは	業界の役割			
第2回	2	やりがいのある仕事とは	美容の業務・内容			
第3回	3	サロン業務	クレーム対応とサービス業			
第4回	4	能力評価	経営者と雇用される側			
第5回	5	業界の成長	業界の発展・問題集			
第6回	6	法律関連の話	関連法規とは何か			
第7回	7	施術に関する法律	施術・化粧品・食品に関する法律			
第8回	8	契約と民法	消費者基本法・契約法			
第9回	9	特定商取引とは	特定商取引とは			
第10回	10	分割払いとクレジット	分割について・支払方法・キャッシュレス			
第11回	11	個人情報保護法	会社の守るべきもの&個人のSNS運用			
第12回	12	自主基準とは	国家資格でない法律の基準について			
第13回	13	問題集	テスト対策			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説とまとめ			
初回持ち物	教科書(⑧サロンマネジメント&法規)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	電気機器学&脱毛学			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	吉田 里子					
	実務経験	有	理系大学で有機化学専攻後、化粧品会社・エステサロンの実務経験を経てエステサロン・化粧品会社設立			
目的及び概要	電気に関して理解することで、美容機械に対する知識を深める。					
到達目標	機械の使用の原理を理解し、検定試験の問題を習得すること					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑦電気学と⑩脱毛学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	電気学とは	電気機器学とは			
第2回	2	エステティック機器	施術用機器			
第3回	3	電気の原理	電気の基礎知識			
第4回	4	身体と電気の関係	エステ利用の電気について			
第5回	5	問題集	センター試験の問題			
第6回	6	脱毛学について	脱毛の歴史			
第7回	7	脱毛学概論	脱毛法の分類			
第8回	8	毛髪概論	毛とホルモン			
第9回	9	病気と脱毛	血液感染など			
第10回	10	衛生管理	衛生管理・滅菌・消毒			
第11回	11	カウンセリング	カウンセリングの盲点と要点			
第12回	12	ワックス脱毛	施術方法の分類			
第13回	13	問題集	センター試験の問題			
第14回	14	テスト	期末テスト			
第15回	15	返却	解説			
初回持ち物	教科書(⑦電気機器学と⑩美容脱毛学)					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステ資格取得対策			クラス名	Q2A				
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位			
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位			
担当講師	石毛 彩花								
	実務経験	有		2年間の集大成となる資格取得が出来るよう、今までの指導経験を 活かし全員合格が出来る様指導致します。					
目的及び概要	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格に向けて、毎時間筆記試験を実施致します。 問題数が多いため、間違った問題に対し解説を作り覚えさせます。また、授業内で模擬試験を行う事で 自分の苦手な分野の理解・把握が出来るので自身で試験本番までに対策をします。事前勉強が必須 になります。必ず全員で合格出来るよう頑張りましょう！								
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験、全員で合格 筆記試験日:2024年12月20日(金)オンサイト受験 ※補講等で授業コマ数変動有り。 この授業では毎回小テストを行います。毎週のテスト範囲を確認し例題集を活用し各自勉強を進め てください。								
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式								
教科書	AEA上級例題集								
<授業計画>	後 期								
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細						
第1回	1	フェイシャル実技理論	100問模試 間違えた問題に対し教科書で調べ解説を作成 次回授業前までにノート提出厳守						
第2回	2	ボディ実技理論・美容脱毛学							
第3回	3	皮膚科学							
第4回	4	解剖生理学							
第5回	5	心身/カウンセリング/ サロンマネジメント							
第6回	6	東洋・西洋/衛生・消毒/ サロンでの救急							
第7回	7	運動/電気・機器学/関連法規							
第8回	8	エステティック概論 栄養学							
第9回	9	化粧品学							
第10回	10	模擬試験(期末試験)					模擬試験実施 合格点90点 不合格者は放課後再試 ※合格するまで		
第11回	11								
第12回	12	模擬試験(放課後) 12/18					模擬試験 合格点90点 不合格者は、合格するまで再試験実施		
第13回	13								
第14回	14	模擬試験(前日補講) 12/19					模擬試験 合格点90点 不合格者は、合格するまで再試験実施		
第15回	15								
初回持ち物	AEAエステティシャン認定試験 例題集、各テーマの教科書、 資格対策専用ノート(ルーズリーフ不可)、筆記用具								
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験				
	・定期試験や小テスト				実技試験				
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)				
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点					
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上			
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上			
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上			
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合							

シラバス(授業内容)

科目名		販売心理学		クラス名	Q2A	
1年単位		前期	-	後期	-	1年合計単位 -
2年単位		前期	-	後期	2 単位	2年合計単位 2 単位
吉田 里子						
担当講師		実務経験	有	理系大学で販売心理学を習得・その後の会社内でも通信教育を続け高い実績がある		
目的及び概要		自分が大切にしたいお客様に満足していただくということは、どういうことでしょうか。お客様の心理を学び、素敵な接客ができるようになることが目的です。				
到達目標		将来、経営者の心理も理解し、人気のある素敵なビューティーアドバイザーになる第一歩が目標となります。				
授業運営方法		演習形式 ・ 講義形式				
教科書						
<授業計画>		後 期				
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1・2	導入	販売心理学とは・接客に必要なもの			
第2回	3・4	常識とは	満足と不満・常識と非常識			
第3回	5・6	小物と心理	財布の持つ価値観と開け方			
第4回	7・8	色の歴史	色によるイメージ支配とコントロール			
第5回	9・10	季節の売り上げ	季節と限定商品			
第6回	11・12	女性脳・男性脳	女性脳と男性脳の購買意欲の違い			
第7回	13・14	経営者の考え方	求人と店のアニュアル・正社員について			
第8回	15・16	業の基本・ディスプレイについて	儲かる店の法則とは			
第9回	17・28	説得から納得へのトーク	評判は他人目線・話し方で売り上げは変わる			
第10回	29・20	人間観察	自分をどう見せるか・見られるか			
第11回	21・22	プレゼンテーション	クロージングの仕方・コスパ			
第12回	23・24	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する①			
第13回	25・26	プレゼンテーション実演	好きなものをクラスメイトに紹介する②			
第14回	27・28	期末試験	テスト			
第15回	29・30	解説とまとめ	返却と説明			
初回持ち物		ノートかルーズリーフ				
成績評価方法		・出席率		定期試験	筆記試験	
		・定期試験や小テスト			実技試験	
		・授業参加意欲			○ 課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ダイエット実習			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元に健康的なダイエットの仕組みを伝えていく。			
目的及び概要	エステティシャンとして、サロンにおいてダイエットや痩身のニーズは非常に多くあります。カウンセリングの際、ホームケアアドバイスの一部となる「運動」を実践形式を踏まえながら、運動の種類や内容、そしてケースヒストリーを元に運動メニューをプログラムしていけるように目指します。					
到達目標	運動プログラム作成					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	自分を知らう	現状の自身のカラダを知る			
第2回	2	トレーニング理論①	運動の種類と強度と頻度と時間			
第3回	3	トレーニング理論②	トレーニングにおける原理・原則			
第4回	4	トレーニングメニュー①	ストレッチの方法と種類と注意点			
第5回	5	トレーニングメニュー②	有酸素運動の方法と運動強度			
第6回	6	トレーニングメニュー③	無酸素運動の方法と運動強度			
第7回	7	トレーニングメニュー④	体幹トレーニング			
第8回	8	トレーニングメニュー⑤	体幹トレーニング			
第9回	9	自分を知らう②	カラダの姿勢と歪み			
第10回	10	トレーニングメニュー⑥	下肢のトレーニング			
第11回	11	トレーニングメニュー⑦	上肢のトレーニング			
第12回	12	ケースヒストリー	運動プログラム作成			
第13回	13	ケースヒストリー	運動プログラム作成			
第14回	14	グループ発表	ダイエット実践における効果・考察			
第15回	15	グループ発表	ダイエット実践における効果・考察			
初回持ち物	筆記用具					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ダイエット検定対策			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	佐々木 圭					
	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元に健康的なダイエットの仕組みを伝えていく。			
目的及び概要	エステティシャンとしてダイエットの知識は非常に重要な知識となります。現在様々なダイエット法があり、ダイエット方法の変化が著しい現代であるからこそ基本的なダイエット知識を学習し、カリキュラム終了後にダイエット検定2級取得を目指します。					
到達目標	ダイエット検定2級合格					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	ダイエット検定2級					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	日本ダイエット協会趣旨・概要 ダイエット定義	日本ダイエット協会とは・ダイエットとは			
第2回	2	現代ダイエットの基礎知識	メタボリックシンドロームを防ぐダイエットの概念			
第3回	3	体脂肪の基礎知識	あぶら・脂肪細胞・体脂肪について			
第4回	4	体脂肪の基礎知識	三大・五大・六大栄養素・基礎食品群			
第5回	5	カロリーと栄養素とダイエット	カロリー基礎知識			
第6回	6	カロリーと栄養素とダイエット	基礎代謝について			
第7回	7	代謝とリバウンドの基礎知識	リバウンドの基礎			
第8回	8	代謝とリバウンドの基礎知識	インスリン・血糖値・GI値			
第9回	9	インスリンとGI値	インスリンを出さない食べ方等			
第10回	10	インスリンとGI値	ダイエットのための運動法と心拍数について			
第11回	11	運動とダイエットの方法論	運動によるダイエットについて			
第12回	12	運動とダイエットの方法論	まとめ			
第13回	13	検定対策	模擬試験			
第14回	14	期末テスト	授業内範囲			
第15回	15	期末テスト返却	フィードバック			
初回持ち物	ダイエット検定2級テキスト・筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	薬膳入門			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	小林 優子					
	実務経験	有	セルフケア上手になるための日常に密着した薬膳を得意とし、薬膳料理教室での経験をもとに、日々の食事と生活で体調を整える薬膳をお伝えします。			
目的及び概要	薬膳は、カラダの中から整えて、キレイに、元気になれるもの。カラダの中からのケア、毎日の食事、生活を整えることが、カラダとココロの美人、インナービューティーへの近道です。キレイになり、元気になり、自分に自身を持つことが、周りの人をキレイにすることにつながります。そのための薬膳です。					
到達目標	自分の体調や体質を知る事、そしてそれに合わせた食事や生活の工夫ができる力を身につけ、自分の体調を整えることを目標とします。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	薬膳概論①	気血水復習			
第2回	2	薬膳概論②	五臓復習			
第3回	3	薬膳概論③	自分の体質チェック			
第4回	4	体質別薬膳①	体質別の薬膳とレシピ作り			
第5回	5	体質別薬膳②	体質別の薬膳とレシピ作り			
第6回	6	体質別薬膳③	体質別の薬膳とレシピ作り			
第7回	7	体質別薬膳④	体質別の薬膳とレシピ作り			
第8回	8	体質別薬膳⑤	体質別の薬膳とレシピ作り			
第9回	9	体質別薬膳⑥	月経痛の薬膳			
第10回	10	体質別薬膳⑦	月経周期の薬膳			
第11回	11	体質別薬膳⑧	美髪の薬膳			
第12回	12	プレゼンテーション①	プレゼン			
第13回	13	プレゼンテーション②・試験対策				
第14回	14	最終試験	最終試験を行います			
第15回	15	振り返り	試験フィードバックと実習			
初回持ち物	なし					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	フェイシャル実技理論&カウンセリング			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	菊谷 未歩					
	実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接客マナーの指導を行う			
目的及び概要	AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした知識習得の授業です。技術の検定に必要なカウンセリング、アドバイス、禁忌事項、お肌やお悩みに合わせた化粧品や機器選定などについて学びます。					
到達目標	AEA上級認定エステティシャン資格取得 フェイシャルの施術を行う上で必要な知識の習得(理論・禁忌や確認事項・機器)とカウンセリング力の向上					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	⑤フェイシャル実技理論・化粧品学/②皮膚科学/③解剖生理学/⑥栄養学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	お悩みの復習	ニキビ・ニキビ痕について			
第2回	2		肌チェックの仕方・シミ・くすみについて			
第3回	3		しわ・たるみ・乾燥について			
第4回	4	ペア発表	ペアコンサル作成			
第5回	5	ホームケアアドバイスについて	ホームケアアドバイスの答え方について			
第6回	6	口頭試問作成	口頭試問用紙完成させる			
第7回	7					
第8回	8	コンサル・口頭確認	コンサル・口頭試問練習			
第9回	9	模擬試験対策	模擬試験対策			
第10回	10					
第11回	11	口頭試問	口頭試問ペアで答える練習			
第12回	12	本番試験対策	本番に向けて最終確認 ※早めに終了予定			
第13回	13	期末対策	理論復習			
第14回	14	期末テスト	期末テスト			
第15回	15	テスト返却	テスト返却			
初回持ち物	筆記用具、実技ファイル、⑤フェイシャル実技理論教科書					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	ボディ実技理論&カウンセリング			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	1 単位	1年合計単位	1 単位
2年単位	前期	1 単位	後期	-	2年合計単位	1 単位
担当講師	石毛 彩花					
	実務経験	有	エステティシャン、インストラクターの経験をもとに検定試験合格に必要な、機器やカウンセリングのスキル、接客接客マナーの指導を行う			
目的及び概要	AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした知識習得の授業です。技術の検定で必要なカウンセリング、アドバイス、禁忌事項、お肌やお悩みに合わせた化粧品や機器選定などについて学びます。					
到達目標	AEA上級認定エステティシャン資格取得 ボディの施術を行う上で必要な知識の習得(理論・禁忌や確認事項・機器)とカウンセリング力の向上					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	④ボディ実技理論・運動生理学/③解剖生理学/⑥栄養学					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	1年次復習	上級スケジュール確認/むくみ			
第2回	2		冷えについて・過脂肪			
第3回	3	身体の理解	ボディチェック・筋肉・骨格説明			
第4回	4	1年次復習	体脂肪の働き・肥満・セルライト			
第5回	5	コンサルテーションシート 口頭試問	口頭試問について・コンサルテーションの書き方			
第6回	6		ボディ機器について(低周波)			
第7回	7		ボディ機器について(超音波)			
第8回	8		ボディ機器について(バイブレーション・サクション)			
第9回	9	シート記入	コンサルテーションヒアリング・シート記入 口頭試問シート			
第10回	10					
第11回	11					
第12回	12	AEA問題集	AEA問題集 ボディ実技 解説作り&答え合わせ			
第13回	13					
第14回	14	期末試験	期末試験			
第15回	15	期末試験返却	期末試験返却・解説			
初回持ち物	実技ファイル、筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	応用実技理論			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	石毛 彩花					
	実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さらに、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要	応用実技の授業にリンクした内容を学んでいきます。 応用実技の目的に沿って即戦力として対応できるようにスキルアップを図ります。					
到達目標	・卒業後、即戦力となれるよう、対応力・技術力を身に付ける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	実技ファイル・ボディ実技理論・カウンセリング					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	スケジュール確認 / 実技向上	メジャーリングについて			
第2回	2	機器オプション 概要	バンテージ / 低周波			
第3回	3		カップング / ホットストーン / かっさ			
第4回	4		タラソ / フットケア			
第5回	5		コースの組み立て方			
第6回	6		サロンでの対応 実践編	お茶出し		
第7回	7	電話対応 実践				
第8回	8	電話対応 実践				
第9回	9	クレーム対応				
第10回	10	接客術	顧客タイプ別対応			
第11回	11	卒業制作	卒業制作 ビューティブック作成			
第12回	12		卒業制作 ビューティブック作成			
第13回	13		卒業制作 ビューティブック作成			
第14回	14	期末試験	期末試験			
第15回	15	返却	期末試験返却			
初回持ち物	ボディ実技理論テキスト、実技ファイル、筆記用具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	化粧品検定2級			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	1 単位	2年合計単位	1 単位
担当講師	担当職員					
	実務経験	有	日本化粧品検定協会コスメコンシェルジュインストラクター資格取得。美容師としての実務経験を活かし美容の知識を幅広く指導し、化粧品検定合格へと導く。			
目的及び概要	化粧品検定の資格取得を通じて、美容の奥深さと楽しさを知り、より美容に詳しいカウンセリングができる美容クリエイターの育成サポート					
到達目標	日本化粧品検定2級 取得					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	テキスト					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67			
第2回	2	美容皮膚科学	皮膚構造としくみ P52～67			
第3回	3	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～			
第4回	4	美容皮膚科学 肌の手入れと正しい知識	皮膚構造としくみ P52～67 P72～			
第5回	5	肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93			
第6回	6	肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～ P～93			
第7回	7	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137			
第8回	8	紫外線が肌に与える影響 美肌・美ボディへの対策	紫外線が肌に与える影響 P120～ 美肌・美ボディへの対策P112～119 P126～137			
第9回	9	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント			
第10回	10	メイクアップの 基本テクニックP.94～	P94～107 試験ポイント			
第11回	11	期末テスト	模擬試験			
第12回	12	期末テスト	模擬試験			
第13回	13	テスト返却・答え合わせ	解説と検定対策(おさらい)			
第14回	14	テスト返却・答え合わせ 検定対策	解説と検定対策(おさらい)			
第15回	15	検定本番	日本化粧品検定2級 受検			
初回持ち物	2級・3級対策テキスト 問題集 手鏡(毎回持参) メイクアップ講座の際には手持ちのメイク道具					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			課題・プレゼンテーション(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300～250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249～200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199～150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ～平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステティックボディ実技			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	4 単位	1年合計単位	4 単位
2年単位	前期	4 単位	後期	-	2年合計単位	4 単位
担当講師	大内博子・石毛彩花・菊谷未歩					
	実務経験	有	検定試験監督者が講師のため、検定試験合格に必要な部分の指導を行いながら資格取得を目指す			
目的及び概要	AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイス力、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の体や悩みに合わせて提供することができるように学んでいます。					
到達目標	AEA上級認定エステティシャンボディ実技試験合格 身体の悩みの原因やメカニズム、最適なトリートメント、アドバイス等をお客様に説明できるようになる。また優れたホスピタリティマインドを保有するエステティシャンを目指す。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	脚背面・脚表	脚背面・背中デモ・練習			
第2回	5-8	腕・お腹	脚表・腕デモ・練習			
第3回	9-12	背中練習	お腹デモ・表面練習			
第4回	13-16	筋肉説明&ボディチェック	筋肉の説明・ボディチェック・背面練習			
第5回	17-20	コンサル	コンサル・全身手順チェック			
第6回	21-24	コンサル・口頭試問	コンサル・口頭試問・背面練習			
第7回	25-28		コンサル・口頭試問・表面練習			
第8回	29-32	流れ練習	流れ練習			
第9回	33-36					
第10回	37-40	期末&模擬テスト	期末&模擬テスト①②			
第11回	41-44					
第12回	45-48	本番	本番①②			
第13回	49-52					
第14回	53-56	ボディ機器	ボディ機器&マッサージ			
第15回	57-60					
初回持ち物・準備物	フルメイク、実技ファイル、ロープ、シーツ、フェイスタオル6枚(そのうちHOT2枚) 筆記用具、メモ帳、ハンカチ、ビニール袋 ※化粧品必要なもの準備					
成績評価方法	・出席率	定期試験			筆記試験	
	・定期試験や小テスト		○		実技試験	
	・授業参加意欲				課題・プレゼンテーション(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステティックフェイシャル実技			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	8 単位	1年合計単位	8 単位
2年単位	前期	4 単位	後期	-	2年合計単位	4 単位
担当講師	石毛彩花・深山美咲・菊谷未歩					
	実務経験	有	検定試験監督者が講師のため、検定試験合格に必要な部分の指導を行いながら資格取得を目指す			
目的及び概要	AEA上級認定エステティシャン資格取得を目標にした技術習得授業です。検定での試験項目はカウンセリング力、技術力、専門知識力、アドバイスカ、接客力の5項目が求められます。他講義で学んだ総合的な知識が技術とともにお客様の体や悩みに合わせて提供することができるように学んでいます。					
到達目標	AEA上級認定エステティシャンフェイシャル実技試験合格 肌トラブルの原因やメカニズム、最適なトリートメント、スキンケアアドバイス等をお客様に説明できるようになる。また優れたホスピタリティマインドを保有するエステティシャンを目指す。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-4	復習	クレンジング→マッサージ練習			
第2回	5-8	コンサル	クレンジング→肌チェック→コンサル→マッサージ練習			
第3回	9-12	マッサージチェック	クレンジング→コンサル→マッサージチェック・フィードバック			
第4回	13-16	ベアコンサル	コンサル・マッサージ→パック			
第5回	17-20	口頭試問	クレンジング→コンサル→口頭試問→マッサージ			
第6回	21-24		コンサル・口頭試問→マッサージ→パック			
第7回	25-28	流れ練習	流れ練習(チェンジあり)			
第8回	29-32		流れ練習(チェンジあり)			
第9回	33-36	期末&模擬テスト	期末&模擬テスト・フィードバック①②(チェンジ無し)			
第10回	37-40		期末&模擬テスト・フィードバック①②(チェンジ無し)			
第11回	41-44	最終確認	流れ練習(チェンジあり)			
第12回	45-48	本番	本番(チェンジあり)			
第13回	49-52	ボディ機器	ボディ機器 & マッサージ			
第14回	53-56		ボディ機器 & マッサージ			
第15回	57-60		ボディ機器 & マッサージ			
初回持ち物・準備物	フルメイク、実技ファイル、ロープ、シーツ、フェイスタオル6枚(そのうちHOT2枚)、Wコットン5枚 筆記用具、メモ帳、ハンカチ、ビニール袋・マスク ※化粧品必要なもの準備					
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			実技試験		
	・授業参加意欲			実施しない(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)	出席率	定期試験		平常点		
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以上	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	末試験未受験・定期試験平均点半分以上・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の場				

シラバス(授業内容)

科目名	サロン運営			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	6 単位	後期	6 単位	2年合計単位	12 単位
担当講師	石毛 彩花 ・ 深山 美咲					
	実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要	学内サロン運営を目標とした実習授業です。授業内では、企業の店舗と同様にお客様をお迎えし、カウンセリング・必要な技術の提案後、技術提供してからホームケアアドバイスや施術の必要な来店頻度など一連の流れに沿って実践します。定期的に関一般のお客様をお呼びし、代金の授受をする学生サロンを開き、実践力を身に付けます。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・チームワーク(積極性)・品格の向上・コミュニケーション能力の向上(カウンセリング力)。 ・自主性・責任感を身に付ける。 ・「教室は仕事場である」を基に行動していく。 					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	前期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	オリエンテーション/技術練習	授業説明(指針)/技術練習 足湯+上級マッサージ練習(脚表裏)			
第2回	7-12	カウンセリング/オプション術練習	カウンセリング/ロールプレイング/ ヘッドマッサージ・かっさ+マッサージ練習			
第3回	13-18	役割決め/オプション練習	資料作成/バイブレーション・超音波・マッサージ			
第4回	19-24	本番コース練習 (痩身・リラク・全身・美肌)	資料作成・マニュアル作成/技術・導線練習			
第5回	25-30		資料作成・マニュアル作成/技術・導線練習			
第6回	31-36		資料作成・マニュアル作成/技術・導線練習			
第7回	37-42	リハーサル	Aチーム リハーサル (Bチームモデル)6/11			
第8回	43-48		Bチーム リハーサル (Aチームモデル)6/18			
第9回	49-54	本番に向けて最終調整	リハ反省共有/本番に向けて最終確認/練習			
第10回	55-60	サロン運営本番(期末試験)	サロン運営本番①7/2			
第11回	61-66		サロン運営本番②7/9			
第12回	67-72	振り返り/反省/技術練習	反省会・共有 / 修正・練習			
第13回	73-78	サロン運営本番(期末試験)	サロン運営本番③7/23			
第14回	79-84		サロン運営本番④9/3			
第15回	85-90	振り返り	振り返り/後期に向けての話し合い・目標検証 / お楽しみ授業			
初回持ち物	実技ファイル、シーツ、ロープ、フェイスタオル7枚(ホットタオル2本)、その他いつもと同じ制服はギャルソン(検定授業以上に身だしなみは整えて参加ください)					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			実施しない(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	サロン運営			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	6 単位	後期	6 単位	2年合計単位	12 単位
担当講師	石毛 彩花 ・ 深山 美咲					
	実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要	『サロン運営』は、外部のお客様を自身で集客し管理をします。 ①前期の反省を活かし、よりよいサロンづくりへ ②集客をし、顧客管理をする(予約管理)、またリピートへ繋げる。 ③お金をいただくことの大切さを知る。※ご満足から”感動”していただける技術・接客					
到達目標	・チームワーク(積極性)・品格の向上・コミュニケーション能力の向上(カウンセリング力) ・先読み行動し即戦力を身に付ける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-6	スケジュール確認/実技向上	キッシング・パター・石膏パック・ブライダルコース(FA)			
第2回	7-12	技術向上	フェイシャルホットストーン・超音波			
第3回	13-18		FAオリジナルコース作成・練習			
第4回	19-24	サロン運営準備	話し合い・作成物・動線確認・技術練習			
第5回	25-30		話し合い・作成物・動線確認・技術練習			
第6回	31-36	サロン運営準備	話し合い・作成物・動線確認・技術練習			
第7回	37-42		話し合い・作成物・動線確認・技術練習			
第8回	43-48	サロン運営リハーサル	AチームFA・BチームBO リハーサル(ドンデン流れ)			
第9回	49-54	サロン運営リハーサル	BチームFA・AチームBO リハーサル(ドンデン流れ)			
第10回	55-60	サロン運営準備	BO又はFA練習 準備			
第11回	61-66	サロン運営本番①	AチームFA・BチームBO サロン運営本番			
第12回	67-72	サロン運営本番②	BチームFA・AチームBO サロン運営本番			
第13回	73-78	サロン運営本番③	AチームFA・BチームBO サロン運営本番			
第14回	79-84	サロン運営本番④	BチームFA・AチームBO サロン運営本番			
第15回	85-90	振り返り・総評	サロン運営 表彰 振り返り			
初回持ち物	制服はワンピース、フルメイク、シーツ、ローブ、茶タオル5枚、ホットタオル2本、スポンジ2枚、スパチュラ 実技ファイル、ハンドタオル、筆記用具、メモ帳、タイマー、鏡、ビニール袋					
成績評価方法	・出席率		定期試験	筆記試験		
	・定期試験や小テスト			○ 実技試験		
	・授業参加意欲			実施しない(提出物)		
成績評価 基準(右合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	エステティック応用実技			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	5 単位	2年合計単位	5 単位
担当講師	石毛 彩花 ・ 深山 美咲					
	実務経験	有	エステティシヤンの経験を元に、サロン経営をしていく中で必要な知識や技術を復習し、さまざまなお客様に対応できる接客を身に付けるよう指導し、実際にサロンを運営していく。			
目的及び概要	応用実技の目的に沿って即戦力として対応できる知識と技術を学びます。 主にエステティックに必要な、あらゆるボディオプションや機器・技術の向上を目指します。					
到達目標	・卒業後、即戦力となれるよう、対応力・技術力を身に付ける ・「教室は仕事場である」を基に行動していく					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-5	スケジュール確認/実技向上	メジャーリング、痩身マッサージ			
第2回	6-10	技術・オプション練習	バンテージ・低周波・マッサージ練習 / メジャーリングタイムトライアル			
第3回	11-15		カップリング・ホットストーン・カッサ / メジャーリングタイムトライアル			
第4回	16-20		足湯・フットケア / メジャーリングタイムトライアル			
第5回	21-25		超音波・ヒートマット / メジャーリングタイムトライアル			
第6回	26-30		サロン運営準備	サロン運営 コース練習		
第7回	31-35	サロン運営 コース練習				
第8回	36-40	ダイエット実習	ダイエット実習 ペア実践			
第9回	41-45		ダイエット実習 ペア実践			
第10回	46-50		ダイエット実習 ペア実践			
第11回	51-55	応用手技	ロミロミ			
第12回	56-60		ロミロミ			
第13回	61-65	期末試験対策	期末テスト対策			
第14回	66-70	期末試験	期末テスト			
第15回	71-75	ワックス脱毛	ワックス脱毛(ウォーム・ホット)			
初回持ち物	制服:ギャルソン、夜会巻き、ボディチェック同様脱げる用意(水着・短パン可) 床用タオル、 シーツ、ローブ、フェイスタオル5枚、ホットタオル4本、 実技ファイル、ハンドタオル、筆記用具、メモ帳、タイマー、ビニール袋					
成績評価方法	・出席率	定期試験		筆記試験		
	・定期試験や小テスト		○	実技試験		
	・授業参加意欲			実施しない(提出物)		
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				

シラバス(授業内容)

科目名	アウタービューティレッスン			クラス名	Q2A	
1年単位	前期	-	後期	-	1年合計単位	-
2年単位	前期	-	後期	3 単位	2年合計単位	3 単位
担当講師	根本 夏味					
	実務経験	有	日本メイクアップ技術検定取得 美容部員の経験を活かし、接客方法やメイクの基礎からトレンドメイクなどの幅広いメイク技術を伝えていく。			
目的及び概要	1年時はメイクアップの基礎とヘアアレンジの基礎を実習を通して学びます。メイクアップでは、ベースメイクからフルメイクを学び、ヘアアレンジでは、アイロンの使い方、編み込みを取り入れた簡単なアレンジ方法を相モデルで実践し人に施術ができるようになることを目標としています。2年時は基本のメイクアップ、ヘアアレンジ技術だけでなく様々なシチュエーションに合わせたテクニックをそれぞれ学ぶことで、エステティックの仕事の幅を広げることを目標としています。					
到達目標	メイク用品の使い方を理解する。 骨格やイメージによるメイクの違いを理解する。 ヘア道具の使い方を理解し、アレンジをできるようにする。					
授業運営方法	演習形式 ・ 講義形式					
教科書	なし					
<授業計画>	後 期					
回数	コマ数	テーマ	授業内容詳細			
第1回	1-3	メイクの復習1	道具の使い方や基本の確認(すっぴん)			
第2回	4-6	メイクの復習2	ポイントメイクの復習(ベースメイクのみして来る)			
第3回	7-9	メイク	トレンドメイク1			
第4回	10-12	メイク	トレンドメイク2			
第5回	13-15	ヘア復習1	道具の使い方や基本の確認(メイクOK)			
第6回	16-18	ヘア復習2	ヘアアレンジ			
第7回	19-21	ヘアアレンジ1	相モデルでアレンジ(メイクOK)			
第8回	22-24	年代別メイク	1920~1960年代のメイク(すっぴん)			
第9回	25-27	ブランド別メイク	ブランドによるメイクの違い(すっぴん)			
第10回	28-30	ヘアアレンジ	相モデルでアレンジ(メイクOK)			
第11回	31-33	老人メイク	シミ、しわの描き方(すっぴん)			
第12回	34-36	期末テスト練習1	イメージメイク(すっぴん)			
第13回	37-39	期末テスト練習2	イメージメイク(すっぴん)			
第14回	40-42	期末テスト	イメージメイク(すっぴん)			
第15回	43-45	FUSに向けて	FUSのヘア&メイク練習			
初回持ち物	白タオル3枚、メイクブラシ、ダックカール、タオル留めクリップ、スポンジ、パフ、ティッシュ、ウェットティッシュ、ゴミ袋、綿棒 すっぴん					
成績評価方法	・出席率		定期試験	○	筆記試験	
	・定期試験や小テスト				実技試験	
	・授業参加意欲				実施しない(提出物)	
成績評価 基準(右記合計点)		出席率	定期試験		平常点	
点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上
点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上
点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上
点数149点以下	D評価	出席率80%以下かつ補講課題未完了・定期試験平均点半分以下 ・期末試験未受験・平常点授業妨害39点以下の場合				